

**第72回全国高等学校
PTA連合会大会宮城大会報告**
県高P連副会長(秋高等学校長) 奥富 智昭

「豊かな杜につぐむ虹の光」しなやかな強さで生き抜く力をメインテーマとし、8月24日(木)8月25日(金)の2日間、晩夏の真つ青な青空の下、仙台育英学園高等学校の甲子園準優勝の興奮が冷めやまぬ杜の都仙台で第72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会が開催されました。今回も昨年同様に対面、オンライン参加を併用して北は北海道から南は沖縄県から高等学校PTA代表約6400人が、山口県からは51人が参加して大いに盛り上がりました。

大会1日目

大会アトラクションは、宮城県内の高校生合同合唱団による「花は咲く」の合同上映がありました。この曲は2011年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援ソングとして作成され、今でもいろいろな方に歌い続けられています。

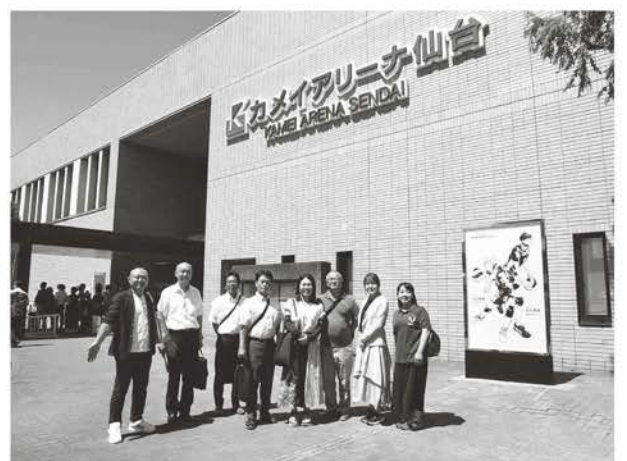
6つの分科会に分かれ、テーマに沿った基調講演やパネルディスカッションが行われました。私は第5分科会の防災・減災教育テーマは「いのち

と希望を未来につなぐコミュニティの光」に参加し、東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔氏から「実践的な災害対応能力を身につけるためのこれからの防災教育案」を拝聴しました。豪雨や強い揺れなどの災害を起こすきっかけに目が行くが、災害の大きさを決めるのは、脆いか弱いかとい



う脆弱性である。命を守る効果が一番高いのは災害が起こるリスクが高いところに住まないなどのリスク回避することである。VUCAの時代を生き抜く子供たちに身につけてもらいたいことは、災害・防災・減災を知り、リスクに対して回避・緩和・転換・受容の4つの手段があることを理解して災害の記憶の体験を体験者から対話などを通じて直接学び共有するの大切さ、学んだことを固定化しないで常態化することが重要である。また震災はどのように共有されているか、保護者の立場、生徒の立場、教員の立場からそれぞれの震災学習や伝承活動など様々な

体験談や取り組み活動が報告されました。今後の必要な取り組みとしてPTA・学校・地域との防災に関する更なる連携、地域防災リーダーの育成や防災意識の温度差は生活する地域により違いなどあり解消などが必要であります。また、被災を乗り越えるだけでなく、自分の隣り合う人の命や尊厳などを見つめ直す防災を通じた防災という教育が今こそ必要だと思います。子供たちも今後国内外の様々な地域での進学、社会人として生活をはじめます。いつくるかわからない危機困難に対応できる生きる力を養い得られた



知識を固定化せず、リスクを回避、緩和できるように努めて欲しいと思いました。

大会2日目

大会アトラクション「白A」によるプロジェクトマッピング。2002年宮城県広瀬高校同級生を中心に結成されたエンターテインメント集団「白A」によるプロジェクトマッピングを駆使しパフォーマンスとテクノサウンドを融合させたアトラクションが披露され素晴らしさにすいこまれてしまいました。表彰式では令和5年度優秀PTA文部科学大臣表彰に山口県立山口中央高等学校PTA様、令和5年度PTA活動振興功労者表彰に銭廣義和山口県公立高等学校PTA



連合会前顧問、中村二郎顧問の方々など、山口県からは3名の個人・3団体の表彰状が授与されました。

記念講演では時の人、仙台育英学園高等学校 硬式野球部監督 須江航氏に「伝わる言葉、失敗から学ぶ」という演題を講演していただきました。甲子園準優勝から2日後の講演ということで会場は最高の盛り上がり、ご自分の経験と理念を熱く語られる姿に冒頭からひきこまれました。「人生は敗者復活戦」と甲子園で敗北後に語った言葉は、須江監督の座右の銘。「大切なことは挫折と向き合うこと」「挫折のない人生なんてないし、面白くないし、存在しない。みんな挫折してるんだよってことを理解してほしい。そこから面白みを感じて努力することが大事」また須江監督は野球の技術を見せることはできないが、言葉や情報を整理することしかできない。指導で関わる中で伝わる言葉ってどうしたらいいのかなど考えていて、結局伝わる言葉の結論は1つしかないのです。相手が聞きたいことしか伝わりません。私が伝えたいことが伝わるのではなく、相手が教えて欲しい聞きたいことしか伝わりません。本当に伝えたいと思ったら生徒に聞くしかない。聞くことが、ほぼ全てだと思います。何を求めているか聞くしかないんです。と、須江監督の熱いお話でした。

須江監督は、野球を通じて社会に出

て生き抜く力を養って欲しいと言われています。高校生活は人生の土台作りに大切な時期だと改めて認識し、子育ての期間を楽しみ関わることの大切さを考える機会となり、会場を埋め尽くした私たち保護者の子育ての緊張を和ませてくれました。

閉会式の最後には、「歴史の町で変革を!!」と新たな時代が目に入らぬかのスローガンとして、来年度は茨城県で開催されることとなっており、水戸黄門様に仮装した茨木大会実行委員長さんへ引き継ぎが行われ無事閉会となりました。

各地区で連絡協議会を開催しました

- 1 岩国地区 (12月5日)
主管校 岩国総合高等学校
- 2 柳井地区 (6月27日)
主管校 熊毛南高等学校
- 3 周南地区 (8月21日)
主管校 華陵高等学校、下松高等学校
- 4 山防地区 (7月28日)
主管校 防府商工高等学校、山口中央高等学校
- 5 長南地区 (8月7日)
主管校 小野田工業高等学校、美祢青嶺高等学校
- 6 下関地区 (8月4日)
主管校 下関双葉高等学校、下関商業高等学校
- 7 長北地区 (7月21日)
主管校 大津緑洋高等学校 (大津校舎)

【事務局からのお知らせ】

山口県公立高等学校PTA連合会ホームページから、これまでに発行された全国高P連会報、山口県高P連会報をご覧になることができます。

ぜひご覧ください。

(<http://ymg-kpren.jp/>)